

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : **CM骨材**
製品種類 : 中空ガラスビーズ
使用上の制限 : 業務用
会社名 : シーカ・ジャパン株式会社
住所 : 東京都港区元赤坂 1 丁目 2 番 7 号 赤坂 K タワー 7F
電話 : 03-6434-7291
緊急連絡先電話 : Sikaテクニカルセンター 047-436-0811
SDS No.:

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素
GHS分類
物理化学的危険性
引火性液体: 区分に該当しない
健康に対する有害性
急性毒性(経口): 分類できない
急性毒性(経皮): 分類できない
急性毒性(吸入): 分類できない
皮膚腐食性/刺激性: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 分類できない
呼吸器感作性: 分類できない
皮膚感作性: 分類できない
生殖細胞変異原性: 区分に該当しない
発がん性: 区分 1A
生殖毒性: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(呼吸器系、腎臓)
誤えん有害性: 分類できない
環境有害性
水生環境有害性 短期(急性): 分類できない
水生環境有害性 長期(慢性): 分類できない
オゾン層への有害性: 分類できない



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

発がんのおそれ
臓器の障害(呼吸器系)
長年にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系、腎臓)

注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。一禁煙。
容器を接地する/アースをとる。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。火災を発生しない工具を使用する。
取扱い後は手洗い・うがいをする。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。
容器は密閉しておく。

応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
漏出物を回収する。

保管

施錠して保管する。
直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物

化学名 :中空ガラスビーズ

成分名	含有量(%)	CAS No.
ガラス	~80	65997-17-3
ムライト	~20	1302-93-8
結晶性シリカ、石英	0.1-5	14808-60-7

4. 応急措置

吸入した場合

風通しの良い場所に移動して下さい。
清水で良くうがいをして下さい。また、軽く鼻をかんで下さい。
症状が改善しない場合は、医師の診断を受けて下さい。

皮膚(又は髪)に付着した場合

払い落として清水で洗い流して下さい。
かぶれたときは、医師の診断を受けて下さい。

目に入った場合

こすってはいけません。
異物感がなくなるまで清水で洗浄して下さい。
かゆみや痛みなどが続く場合は医師の診断を受けて下さい。

飲み込んだ場合

清水で良く口を洗い、製品が完全に除去されるまで繰り返して下さい。

症状が改善しない場合は、医師の診断を受けて下さい。
最も重要な徴候及び症状
データなし
応急措置をする者の保護
データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

各種消火剤を使用しても有効です。
但し、まわりの状況(発火原因など)に応じて、適切な消火剤を選定して下さい。

不適切な消火剤

データなし

特有の危険有害性

データなし

特有の消火方法

不燃性なので、特別な措置はありません。

消火を行う者の保護

火災現場にこの物質が認められる場合の推奨保護具は、防じんマスク、保護メガネ、全身を覆う保護服、薬品用手袋、ゴム長靴。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

粉じんを吸い込まないで下さい。皮膚や目に触れないよう注意して下さい。

環境に対する注意事項

データなし

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

床などにこぼれた場合、滑りやすく危険なため、速やかに、掃除機、ショベル、箒、モップ等を使用して、粉じんが飛散しないよう静かに清掃し除去して下さい。

二次災害の防止策

大量に漏出した場合は、清掃に必要な人員以外を現場から遠ざけて下さい。
容器包装破損時は、テープ等で目張りして再漏出を防止して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

防じんマスク(国家検定品)、粉じん作業用保護メガネ(ゴーグルタイプが望ましい)及び保護手袋(耐薬品用が望ましい)を着用して下さい。

(火災・爆発の防止)

データなし

局所排気、全体換気

作業は、必ず風通しの良い場所、又は換気装置のある場所でおこなって下さい。

注意事項

データなし

安全取扱注意事項

データなし

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

吸湿性、固結性があるため、高温多湿とまらない屋内に保管し、開封後は、容器包装を常に閉じて乾燥した状態を保って下さい。

保管条件が不適切な場合には、固まりが発生し、所定の性能が得られなくなる場合があります。

避けるべき保管条件

直射日光が当たる場所。屋根がない場所。高温になる場所、およびその隣接した場所。
開封状態での保管。

配合禁忌

データなし

容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

0.43mg/m³ (遊離けい酸含有率5%)

許容濃度

(吸入性結晶質シリカ) 日本産業衛生学会 0.03mg/m³
ACGIH TLV-TWA 0.025mg/m³

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

着用すべき手袋の材質:不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。

この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体(粒状及び粉末)

色 : グレー又はオフホワイト

臭い : 無臭

融点/凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし

可燃性 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH : データなし

粘度 : データなし

動粘性率 : データなし

溶解度

水に対する溶解度 : 水に不溶

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

蒸気圧 : データなし
密度及び/又は相対密度 : データなし
かさ比重 : 約0.5g/cc
相対ガス密度(空気=1) : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

安定

湿気により固結することがあります。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

吸い込まないように、すり潰したり、粉碎したりしての粉じんの発生を避けて下さい。

混触危険物質

フッ化水素酸溶液

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

本製品を使用した既知の急性眼刺激性試験データはありません。

局所効果

皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚の乾燥と炎症を引き起こす可能性があります。

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データなし

感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

催奇形性 : データなし

発がん性

結晶性シリカは米国毒性プログラム(NTP)発がん性物質に指定されています。また、国際がん研究機関(IARC)によりグループ1「人に対する発がん性が認められる物質」に指定されています。

生殖毒性 : データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

長時間又は頻繁な結晶性シリカへの暴露は、肺の機能障害を引き起こし、珪肺、肺気腫、閉塞性起動疾患、肺がんを発症する場合があります。

誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性 : データなし

水溶解度 : データなし

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壤中の移動性 : データなし

オゾン層破壊物質 : データなし

その他情報

その他の環境有害性情報 本製品に関する環境への影響情報はありますが、水路などに投入して汚染させないで下さい。水に浮き、物理的に生態系を乱す恐れがあります。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

廃棄するガラスは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の「ガラスくず及び陶磁器くず」に該当し、産業廃棄物として処分できます。飛散防止を行った上で、都市条例に従って処分をおこなってください。

汚染容器及び包装 データなし

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 :該当しない

指針番号 :該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当する化学品を意図的的成分として含有せず、購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日以前）

該当しない

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日施行分より）

シリカ

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

シリカ

特定化学物質障害予防規則

該当しない

有機溶剤中毒予防規則

該当しない

化学物質管理促進(PRTR)法

該当しない

消防法

該当しない

じん肺法

「鉱物」に該当し、作業内容によっては適用を受けます。

粉じん障害防止規則

「鉱物」に該当し、作業内容によっては適用を受けます。

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7252, JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム（独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE）

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、

製品名:CM 骨材
SDS No. :

改訂日:2023.04.01

化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。注意事項は、通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上